

# 市政報告

令和8年3月定例会

## 子育て世帯の皆さまへ

保育・教育・安全の最前線

三郷市議会議員

**鈴木優作**

令和8年3月

本資料は三郷市議会議員 鈴木優作が独自に作成した資料であり、三郷市の公式発表ではありません。  
掲載内容は令和 8 年 3 月定例会の施政方針および一般質問に基づいています。

令和 8 年度の三郷市予算は 617 億 5,000 万円。19 年ぶりの前年度比マイナス予算 (-1.2%) ですが、これは南部防災施設整備の完了による自然減です。市税収入は約 247 億円 (前年度比+6.6%、約 15.3 億円増) と過去最高水準。子育て・教育分野には手厚い配分がなされています。以下、子育て世帯に直接関わる 10 のポイントをお伝えします。

## 3 月定例会のポイント

**市の新事業** 三郷市の施政方針に基づく事業

**鈴木の一般質問** 鈴木優作が議会で取り上げた内容

**市の新事業**

### 「こども誰でも通園制度」がスタート — 高州・早稲田の 2 保育所で

令和 8 年度から、高州保育所と早稲田保育所の 2 か所で「こども誰でも通園制度」が始まります。これまで保育所を利用できなかった家庭でも、一時的にお子さんを預けられるようになる国の新制度です。「共働きで急な用事ができた時」「育児疲れでリフレッシュしたい時」「上の子の学校行事の時」など、理由を問わず利用できます。三郷市では 2 か所からスタートし、利用状況を見ながら今後の拡大を検討していく方針です。

施政方針

**市の新事業**

### プレーパーク — 「こどもの居場所」が市の認定制度で広がる

子どもが自由に遊べるプレーパークの実施に向けて、市民・団体・企業との協働で仕組みづくりが進みます。特筆すべきは、市独自の認定制度を導入する点です。認定を受けた団体には市からのサポートが付き、場所の確保や安全管理の支援が受けられます。公園だけでは足りない「放課後や休日の子どもの居場所」が、地域の力で広がっていく新しい枠組みです。費用のかからない安全な居場所が増えることは、すべての子育て世帯にとってプラスです。

施政方針

**市の新事業**

### 保育所に見守りカメラとオートロックを試行設置

公立保育所 1 か所に、保育室内外の録画を行う見守りカメラと、門のオートロック機能を試行的に設置します。不審者の侵入防止はもちろん、保育中の事故やトラブルの客観的な記録にもなります。全国的に保育施設の安全対策が課題になる中、三郷市が公立保育所で先行して実証し、効果を検証した上で他の施設への展開を

判断する方針です。お子さんの安全をテクノロジーでも守る取り組みが具体的に始まります。

施政方針

#### 市の新事業

### 彦成小・丹後小の校舎改修 — 学校施設の長寿命化

彦成小学校と丹後小学校の屋上防水や外壁塗装等の外部改修を実施します。学校施設の老朽化は全国的な課題ですが、三郷市は計画的に改修を進めています。北部図書館の大規模改修、早稲田児童センターの改修設計も同時に進行しており、子どもたちが日常的に使う公共施設の環境改善に予算が確保されています。雨漏りや壁のひび割れといった問題を未然に防ぎ、安心して学べる環境を維持します。

施政方針

#### 市の新事業

### 学校の ICT 環境を強化 — ネットワーク機器を全面更新

小中学校のネットワーク機器を更新し、通信速度の向上とセキュリティ対策を強化します。GIGA スクール構想で 1 人 1 台端末が配布されましたが、ネットワークが遅いと授業が止まるという現場の声がありました。機器更新により、お子さんが安全にデジタル学習できる環境が整います。デジタル教科書やオンライン授業への対応力も向上し、将来の学びの基盤が強化されます。

施政方針

#### 市の新事業

### 防災プラザみさと開館 — VR 防災体験で子どもも学べる

南部地域に「みんなの防災プラザみさと」が令和 8 年度に開館します。建築・機械・電気工事に加え、展示物の製造や VR 体験コンテンツのシナリオ作成が進行中です。お子さんが実際に体験しながら防災を学べる施設として、学校の防災教育との連携も期待されます。地域の避難拠点としても機能し、「いざという時どこに逃げるか」を親子で確認できる場所になります。

施政方針

## 鈴木優作の一般質問

以下は令和 8 年 3 月定例会で鈴木優作が市に対して要望・提案した内容です。決定事項ではなく、実現に向けて引き続き働きかけてまいります。

☎ **三郷市 LINE 公式アカウントに登録しませんか？**

鈴木が議会で要望している内容の多くは、LINE 公式アカウントの活用に関わるものです。まずは友だち追加して、三郷市の最新情報を受け取ってください。巻末の QR コードから登録できます。

📄 一般質問の詳細はこちら → [yusaku-suzuki.com/council-qa-202603](https://yusaku-suzuki.com/council-qa-202603)

#### 鈴木的一般質問

### LINE 公式アカウントで子育て情報をセグメント配信

一般質問で LINE 公式アカウントの活用と今後の展望を取り上げ、行政情報の LINE への集約を要望しました。LINE を情報配信の中核に位置づけることで、居住地域や属性に応じたセグメント配信が可能になり、「子育て世帯に必要な情報だけが届く」仕組みへの進化が期待できます。予防接種の時期、保育園の募集、子育てイベントなど、必要な情報を見逃さない仕組みの実現を求めています。

一般質問

#### 鈴木的一般質問

### 自主防災組織の連携強化 — 家族を守るスキルを無料で習得

一般質問で自主防災組織の連携を取り上げ、若い世代の参加拡大を要望しました。三郷市が 30 年以上独自に実施してきた指導者養成講座では、救護・AED・救助訓練など実践的なスキルが無料で学べます。これまでに約 800 人のリーダーを輩出した実績があります。この講座で身につくスキルは災害時だけでなく、日常の子どもの怪我への対応にも直結するため、「家族を守るスキルが無料で得られる」と打ち出し、子育て世代の参加拡大を図るよう要望しました。

一般質問

#### 鈴木的一般質問

### AI 活用で子育て支援をもっとスマートに

一般質問で AI 活用と法的整理の推進を取り上げました。行政が蓄積する保育・教育・福祉のデータを AI で分析することで、保育所の需要予測や待機児童対策の精度向上、子どもの見守りデータの活用など、子育て支援の質を高める提案です。また、近隣自治体との広域連携によるシステムコスト削減や、職員の DX リテラシー教育の充実も提案しており、限られた予算をより効果的に子育て分野に振り向けるための基盤づくりを求めました。セキュリティ体制の見直しも含め、安心してデジタル化の恩恵を受けられる環境の実現を要望しています。

一般質問

#### 鈴木優作より

保育・教育・安全の 3 分野で、令和 8 年度は具体的かつ大きな前進があります。「こども誰でも通園制

度」「プレーパークの認定制度」「見守りカメラの導入」「学校 ICT 環境の強化」。そして私からは「LINE での子育て情報配信」「AI 活用による子育て支援」「自主防災組織の連携強化」を議会で取り上げました。「三郷で子育てしてよかった」と思える街を目指して、引き続き現場の声を議会に届けてまいります。お気づきの点があれば、LINE でお気軽にお知らせください。

## LINE で友だち追加してください

<p><b>三郷市</b></p> <p>LINE 公式アカウント</p>  <p>三郷市公式の情報配信</p>	<p><b>三郷市最新ニュース</b></p> <p>from 鈴木優作</p>  <p>防災・イベント・行政情報</p>	<p><b>鈴木優作</b></p> <p>LINE 公式アカウント</p>  <p>市政相談・ご意見ご要望</p>
---	--	---

📄 一般質問の詳細 → [yusaku-suzuki.com/council-qa-202603](https://yusaku-suzuki.com/council-qa-202603)

QR コードをスマホのカメラで読み取るだけで友だち追加できます